

# MONTHLY REPORT

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2670 ANAN ROTARY CLUB



## 2017-2018 田村会長年度がスタート!!

原田前会長より田村会長へ認証状が伝達されました。



### contents

- 田村会長就任挨拶 ..... 2
- 写真で振り返る原田年度 ..... 3~4
- 2016-17 家庭集会 ..... 5~8
- 阿南ロータリークラブ俳句会 ..... 8



ロータリー：  
変化をもたらす



## ええもん見つけ，全員野球

2017-2018年度 会長 田村 英人



阿南ロータリークラブ2017-18年度会長を務めさせていただきます，田村でございます。

このような機会を頂きましたことに深く感謝申し上げます。どうぞ皆様のご指導ご協力お願い申し上げます。

今年度RIテーマは「変化をもたらす」です。

地区方針はガバナー柳澤光秋様より「クラブの特性を生かそう」と打ち出されました。我がクラブもRIテーマ，地区方針にそって大切に守るもの，大事に育てるもの，また，新しい種まきにもこれまでよりちょっとだけ工夫，チャレンジできればと思います。

言うまでもなく，我がクラブ伝統の活動は第29回を数える小学生一輪車大会，昭和42年提唱設立し，今年設立50年を迎える阿南工業高校インターアクトクラブとの交流活動，11回目のお遍路さんお接待，四国アイランドリーグの応援，クリスマス家族会，家庭集会，ゴルフ，俳句の会等の各クラブ活動，等々でございます。

このような活動を通し，私たちは素晴らしい仲間と出会い，親睦を深め，絆を強めてまいりました。

ロータリーは奉仕を志す人の集まりであり，その人々は深い信頼と友情によって成せる。とあります。

親睦活動は大事な出発点となります。

職業人としてもさらに職業を高潔にし奉仕の理想を追求し，大いに学び，親睦を深め「阿南ロータリーここにあり」を目標にみんなでプレイする「全員野球」で「ええもん見つけ！」の年にと，抱負を抱いています。

来年度はクラブ60周年を迎えます。1987-88年には萩原茂ガバナーをも輩出される等，諸先輩の努力とご功績に敬意を表し，ここに在籍させていただいていることに改めて感謝を申し上げます。

本年度，先輩より引き継ぐバトンを落とさないよう，さらなる第一歩となれますよう重大な責任を自覚し，精一杯務めさせていただきます。

写真で振り返る  
2016-17年度 原田年度

第1回例会 2016.7.5



野球観戦 アグリあなんスタジアム 2016.7.31



短期交換留学生歓迎会 2016.7.5



納涼家族会 2016.8.7



阿南駅前清掃ボランティア 2016.8.22



第10回お遍路さんへのお接待 太龍寺 2016.8.28



加藤ガバナー補佐訪問 2016.9.27



前田ガバナー公式訪問 2016.10.11



移動職場例会 2016.11.15



クリスマス家族会 2016.12.20



クラブ功労者送別会 2017.2.28



創立記念例会 2017.2.14



合同IM 2017.3.11



6/27



### 最終夜間例会及び品川会員送別会

原田会長より会員へのお礼の挨拶があり、相棒の中島幹事への慰労のことばがありました。退会される品川会員からも挨拶がり、原田会長より感謝状、記念品の贈呈がありました。

また、田村次年度会長からも原田会長、中島幹事へお礼が述べられ、その後、守野元会長の音頭で懇親会に移りました。

原田会長 中島幹事  
お疲れさまでした!



2016-2017年度

# 家庭集会

テーマ

会員を増やすためには・・・ 後は自由テーマ

5/15  
(月)

開始時間：18:30～

出席者：門田会員・大津会員・山田会員・田村会員

会場：田村会員宅にて

西田会員

## 新「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の事項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

- ・(良い友達・仕事にもつながる) 以上の内容があれば、必然的に良い会との認識が伝わり、増強につながる。
- ・入会したら、RCの楽しさを見出さなダメ。そのために、自分から溶け込むよう努める事。
- ・RC間の親睦旅行、ゴルフ、懇親(飲み)をはかる。
- ・入会後の研修で、以上の事を伝え、実行するよう説明する。
- ・クラブ自身に勢いがあり、気安く交流情報の交換があり、盛り上がる会であれば、自然に増強できるのでは？
- ・増強が先に出るのではなく、クラブに力(魅力)が付けばよい。
- ・ロータリークラブの意義・一業種一人の意義
- ・業種を超えた意見交換の場
- ・職業奉仕
- ・会員の教育(勉強会)
- ・必要以上の会員がいてもダメ
- ・阿南ロータリーの会自身の中身の充実
- ・ロータリーの意義=目的(ロータリーの綱領)調べてみる
- ・何を求めてクラブに出席するのか？
- ・新入会員も、志を持って入会よりも、誘われて入会者がほとんど。
- ・もともと阿南RCはステータスのあった会であった。(日亜の小川会長も会員だった)
- ・自社も会社の節目に今に至るまでの歴史を振り返り、社員ともども創業時の思いを確認しあった。
- ・阿南RCとは、阿南RCの歴史、阿南RCの意義。
- ・会に出席してる事、すべてが奉仕につながる。
- ・60周年の歴史をふまえ、振り返り、新たに認識をしよう…。



5/15  
(月)

開始時間：18:30～

会 場：峰会員会社にて

出席者：久米会員・峰会員・渡川会員・森会員・横手会員

オブザーバー例会などを1回きりでなく、継続させていっては…。入会に結びつかなくても諦めずに時間をかけてやるべきである。

昔は、「会長選考委員会」や「職業分類委員会」などがあって、なかなか入会が許されにくい時期もあった。今は、その時よりずっと緩和されている中で、入会候補者にRCの良さをもっとPRしていくためにもどんどんやるべき。

#### 自由テーマでは、

家庭集会の意義について

例会などの大勢の中では話しにくいことも小人数の家庭集会のような場では、話しやすい。

RCに対する熱き思いを持たれている方の話を開けること（無関心にならぬように）ロータリーアンとしての高い意識をもつ。そして次世代につなげていく。

傍観者になってはならない。

家産集会での意見をもっと吸い上げてほしい。



#### 出席委員会の意義

毎回会員さん別に出席のハンを押しているが、出席率自体出席者の頭数での報告を毎回しているが、長期の欠席者に対して出席を促したり、運営上の参考データとして有効に使ってほしい。(理事会などで)

5/16  
(火)

開始時間：18:30～

会 場：平野会員宅にて

出席者：森岡会員・大久保会員・中島幹事・平野会員

渡辺会員・浜村会員・大津会員・六車会員

司会進行役の森岡会員の、始めるか～！との掛け声で18時30分の定刻より「会員を増やす為には、今後どの様な対策が必要か？」と言うテーマで開始しました。

途中からは、ゴルフの上手な“洋子夫人”にも参加して頂き、約3時間の有意義な家庭集会となりました。

参加者全員から、多くの意見や考え方(想い)を公表して頂きました。主な意見を紹介しますと…

- ① 我々の声掛けを、もう少し早い時期から開始する必要がある。
- ② 短期間で、退会者を出さないような体制作りを構築する必要がある。
- ③ 新入会員の、サポート体制を充実して、出席しやすい例会にするべきである。
- ④ 新入会員には、勧誘した会員がしっかりとサポートする必要がある。
- ⑤ 阿南ロータリークラブ入会のメリットを、明確にアピールすることが大切である。
- ⑥ 退会者の根絶には、無理な入会を勧めないようにする。
- ⑦ 親睦会・研修会をもっと活発化し、一方では楽しいロータリーを演出することが大切。
- ⑧ 今後は、現在入会の無い業種(業界)を対象に探すことも必要。
- ⑨ ライオンズクラブ退会者、青年会議所のOBを勧誘する。

様々な意見が出ましたが、ロータリークラブに限らず、組織の基盤作りには、会員増強は不可欠であり、当然必要な運動であると言う認識の下で議論を進めました。

まず、現在出席出来ていない会員の件、そして新入会員が短期間であっさり退会して行く問題などを省みた時に、現在実施している会員増強運動で良いのか？と言う議論になり、特に、新入会員の方には、入会直後の対応を考える必要があるのではないか？という意見が集中し、中には数合わせの会員増強はどうか？と言うようなシビアな意見もありました。

シビアな意見の裏には、せっかく入会して貰った会員が、短期間で簡単に退会するような状況無くす為にも、入会を勧めた会員を始め、我々全員で新入会員を退会させない為の、フォロー体制をしっかり構築する必要があるのではないか！という話題に入り…

まずは、新入会員が例会に出席しやすい雰囲気作りを考えること、また友情を深める為の親睦会や研修会の、設営を更に工夫することなども考えなければ…との話し合いとなりました。



具体的な中身に付いては、今後、会員増強委員会を中心に、親睦委員会、クラブ研修委員会そしてロータリー情報委員会などが協力して、阿南ロータリークラブならではの“退会防止策”を考えてゆくべきだと言う話題に進展しました。

また一方では、ロータリアンに一番必要なことは“ロータリーの目的”である、『奉仕の理念を奨励し、これを育むこと』と、あるように、勧誘の際には、ロータリークラブのクラブの活動方針を、ある程度理解して貰った上で、入会を推進して行くことが、今後の会員増強には必要ではないかとの意見に集約されました。

『今回の家庭集会での結論は、短期間に急いで入会を勧めるのでは無く、阿南ロータリークラブの活動内容を更に活発化させて、まずは現在のメンバーから退会者を無くす事が、最重要課題であり、それに並行しながら、新入会員の受入れ体制の充実を図って行く事が、今後の、阿南ロータリークラブの会員の増加に繋がって行くのではないかと結論に至りました』

5/18  
(木)

開始時間：18:30～  
会 場：河内会員宅にて

出席者：原田会長、藤崎会員、庄野会員、荒谷会員  
河内会員、米田会員、藤井会員

100年以上経っている立派なお家に入り、河内さんの自室でお抹茶（米田さんに入れて頂く）のお接待、少し会員増強についてお話をしていましたが、席を客間に移し、お食事や美味しいワイン、ビール等を頂きながら話を進めました。

- 会員を増やさないと会が衰退してしまうので一人一人が会員（ロータリー）としての自覚を持ち、誇りを持って勧誘する。
- 阿南ロータリークラブは伝統があるので、大事に会を継いで行こう、だが伝統ばかりに頼ってはいけない、時代とともに変化しなくては…でも阿南ロータリーらしさを失わない様、筋は通さなくては。（その時、石澤さんの話で盛りあがった）



ご主人自慢の家庭菜園と美しい花が咲き誇っているお庭

- 入ってくれた人にはちゃんとフォローしなくては退会されるので、又、席の件で来賓の席には会長か幹事が同席した方がいいのでは。
- 家庭集会は会員同士を知り合うためにも必要ではないか。でも欠席が少し多い様に思うので仕方を工夫しなくてはとの意見もあった。

最後に、藤崎会員から自分の自慢とか近況など何でも話して下さいと言われ、皆様から色々お話を頂き会員同士少しわかりあえた夜でした。

5/17  
(水)

開始時間：18:30～

出席者：谷真澄会員、鳥海会員、品川会員、大津会員、吉田会員

会場：谷真澄会員宅にて

藤崎会員、清原会員、オブザーバー 谷敬二さん

- 僕らの年代の人との話の中で、昼間の例会には出づらい。
- 夜に例会を開いてもらえるとありがたい。
- インターネットで出席するシステムもあるといい。
- 外にPRができる阿南ロータリーのイベントを。
- クラブの特色を出す。それに賛同してもらえるような人を勧誘する。
- 若手を大量で入れている他のRCもあるが、趣旨が理解できずにやめて行く人もいる。
- ある程度自由のきく人でないと入りづらい。
- 出席を厳しくすると若い人は入れない。
- 参加できるものがカバーする。
- 仕事があつてのロータリークラブ。自分の仕事を大切に。
- ロータリーに入ることで知り合えない人と出会える。
- 年齢とかバックボーン関係なしで交友関係を持つことができる。
- ロータリーを好きにならなくてはならない。
- 自分が好きだったら他人にロータリーを勧めることができる。
- 例会での挨拶ができていないと思う。
- お互いを認め合うのが原点だと思う。
- 若い人の欠席が多いのが気になる。
- 今ロータリーが求める人材は若い人だが、ロータリーの理念に基づいて活動できるのはある程度歳をとった人。
- 顔見知りの人が声をかけると良い。
- 辞めてからRCの良さを実感。辞めなければ良かった。



#### 欠席してる人に対して

- ハガキじゃなくて電話で出席を促す。
- 紹介した人が欠席者のフォローをしたほうがいい。

家庭集会では、たくさんの良い意見が出されています。

机上だけで終わらずに、ぜひとも実践してください。

阿南ロータリークラブ俳句会

平成二十九年 五月

寺の門くぐり抜けたる夏燕

荒谷 隆文

玄関を開け放ち待つ燕かな

久米 浩一

春蘭の咲けり茶の師の形見なる

河内 順子

少年よ健やかなれよ柿若葉

品川 重晴

愛犬の踏み出す一步春うらら

鳥海 勇二

ぎこちなく世代交代田水張る

峰 敏勝

夏めくや空海山河に吹く風と

横手 久典

青葉風四股高々と土俵入

神原 鹿山